

日本健康心理学会メールマガジン No.38



2015年9月28日 第38号

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラムvol.33 神奈川大学 杉山崇先生

1) 学会からのお知らせ <http://jahp.wdc-jp.com/>

■日本健康心理学会第28回大会

□第28回大会準備委員会より
桜美林大学町田キャンパスでの第28回大会は、会員の皆様、本学関係者の協力により、無事終了することができました。ありがとうございました。参加者概算は事前予約349名+当日参加154名でした。学会内外での変革の年、また本学健康心理学コース設置後15年にあたり、今後の発展に向けた原動力になるものと期待しております。

□第28回大会は盛会のうちに終了（理事長・竹中晃二）
さる9月5、6日の両日、桜美林大学において第28回大会が開催され、盛会のうちに幕を閉じました。数多くのシンポジウム、ワークショップ、研修会、教育講演、およびポスター発表が並列でスケジュールに組み込まれたタイトなスケジュールの中、会員は思い思いの部屋にわかれ、極端な参加者数の違いは見られませんでした。桜美林大学の先生方、多くの大学院修了者の皆様、そして学生さんが一丸となって準備と運営に取り組んでいただいたおかげでと深く感謝しています。次回29回大会は、来年11月19、20日に岡山大学で開催されます。晴れの国、岡山でお会いしましょう。

□第28回大会ポスター賞

第28回大会ポスター賞は厳正な審査の結果、下記の方々に決定致しました。おめでとうございます。P1-09 上地広昭 : P2-16 杉山瑞奈 他 : P3-33 鈴木文子 他

□国際委員会企画シンポジウム（国際委員会より）

第28回年次大会にて国際委員会企画のシンポジウムが行われました
<http://jahp-international.blogspot.jp/>

■日本健康心理学会第29回大会（岡山）のご案内（第29回大会準備委員会より）

2016年度の年次大会は岡山大学で開催されます。11月19日・20日という紅葉の美しい時期です。
大会テーマは「健康のグローバル・パースペクティブ」。
研究の発表と交流が活発に行われ、我々の平素の活動の充実・広がり意識できる大会にできればと思います。
岡山大会のホームページが立ち上がりましたので、ご案内いたします。（掲載情報は随時更新してまいります。）
第29回大会URL：<http://jahp.wdc-jp.com/conf/29th/>

■公認心理師法案について（資格検討委員会より）

9月9日（水）に参議院本会議にて「公認心理師法案」は全会一致で可決成立しました。付帯事項6項目が追加されての全会一致でした。ついては、早急に本学会の役割、認定健康心理士の位置づけ等の検討を開始します。詳細は三団体合談のホームページを参照ください。
<http://3dantai-kaidan.jp>

■第100回健康心理学研修会のご案内（研修委員会より）

2015年11月28日（土）福岡市健康づくりサポートセンター「あいれふ」にて開催されます。研修テーマは「生活習慣病に対する健康心理学的アプローチ」です。詳細は健康心理学会ホームページをご参照ください。
<http://jahp.wdc-jp.com/kensyu/kensyu2.html>

■日本認定健康心理士会のご案内（日本認定健康心理士会より）

□健康心理士会のホームページを仮開設しました。今後充実させていく予定です。<http://www.health-psychologists.com/default.html>

■機関誌のご案内（機関誌編集委員会より）

□機関誌名称の変更について

国際化の波を踏まえた数年間の議論を経まして、2016年度発行予定の第29巻より、正式な機関誌名を「Journal of Health Psychology Research」と改称することになりました。

英文名称の機関誌になりますが、これまでと同様に、和文論文、英文論文の投稿が可能で、原著論文、資料論文、事例研究、展望論文、研究報告論文を掲載していきます。

□論文審査の迅速化について

投稿していただいた論文は、採択、修正採択、再審査、不採択の4段階をもって判定しておりますが、3度目の投稿（再々投稿）の判定には「再審査」の判定を用いず、それ以外の判定をもって、採否の方向性を示すことになりました（2015/10/1投稿受付分より）。

これによって審査期間の短縮化をはかりたいと考えております。多くの皆様のご投稿をお待ちしております。

■2015年度受賞論文のご案内（本明記念賞選考委員会より）

2015年度の受賞論文は、関西学院大学の竹恵子先生による「非喫煙者の受動喫煙対処行動による喫煙獲得「前熟期」のステージ細分類」に決定しました（Vol.27, No.2, pp.131-139, 2014）。
第28回大会の会員集会（9/5：桜美林大学）において、授賞式と大竹先生によるスピーチが行われました。

2) 健康心理学コラムvol.33

「健康って何だ？答えは研究の積み重ねの中にある？」 （神奈川大学人間科学部 人間科学科 杉山崇先生）

みなさんは「健康」をどのように捉えているのでしょうか。自尊心（self-esteem）や本来感の高め安定？ストレスや疲労感の少なさ？日々の達成感や充実感？日々の対人関係？健全で癒のないパーソナリティ？抑うつや不安などの症状がないこと？自己実現の喜び？現実認識の適切さ？マインドフルな状態？書き出すとキリがありませんね。健康とは価値観を含んだ概念なので、科学的な定義は困難です。論文や研究の中で「本稿（研究）における健康とは…」と健康観を暗黙裡にでも設定しながら健康心理学研究は展開されていると思います。

ところで、どの世界にも「大乘派」と「小乗派」がありますが、健康心理学の魅力は「小乗派」が少ないことでしょうか。つまり、研究者の健康観を比較的広く受け入れてくれるのです。これは心理学を通して新しい提案を世に出したい研究者には魅力です。90年代にはさまざまなストレスモデルが検討され、「幸福な人はどんな人なんだ？」といったハッピーな人のパーソナリティ研究もなされました。その中の何割かはトートロジーだったり、見かけ上の相関に過ぎない現象だったり、原因と結果を混同していたり…と、歴史の中に埋もれたものもあります。ですが、たくさんの埋もれた研究があるから残った研究もあるのです。世の役に立っている研究に結びついているのです。研究者の皆さん、埋もれることを恐れずみなさんの新しい健康観を世に問うチャレンジを続けてください。その積み重ねが心理学の将来とよりよい社会を支えているのです。

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更については下記アドレスまで。日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想については下記アドレスまで。広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>